

シッダ・ヨーガの道のウェブサイト上のディヤーナ・サプタ

親愛なる読者の皆さん

あなたの瞑想の修行はいかがですか。私がこの質問によってどこに向かおうとしているのか、皆さんはもうお分かりですよ。そうですね。そうです——皆さんの注意を、8月 15 日に向けようとしているのです！

毎年8月 15 日、シッダ・ヨーガの道を歩む私たちは、バーバ・ムクターナンダのディヴィヤ・ディークシャー——バーバが彼のグル、バガヴァーン・ニッティヤーナンダよりシャクティパートの伝授を受けた日——をお祝いします。彼の精神的な自叙伝、『プレイ・オブ・コンシャスネス』の中で、バーバ・ムクターナンダはその日を表現して、「こよなく神聖で…そうだ。その日は吉兆の日々の中でも最高に吉兆の夜明けだったのだ」と書いています。

バーバは、ガネーシュプリーでシャクティパートを受けた時の彼の体験について、最初に驚くべき描写をしています。それから、バーバは書いています。「ある朝、私はグルデーヴとのダルシャンをするために彼の前に立っていた。彼は幾つかの果実をくれると、『フーム』と喉を鳴らし、私に『去れ』と言うのだった。私がまだそこに立っていると、『行くんだ…おまえの小屋へ。ヤオラの…ヤオラに滞在して…知識がそこにある。瞑想するんだ！』」

バーバは、すぐに彼のグルの命令に従い、ヤオラの町の近くのスーキの小屋でサーダナーを行いました。バーバは書いています。「私はヤオラに着いた。そして、次の日、修行のための小屋のあるスーキに向かって出発した。その小屋は、東西を向いた2本のマンゴーの木に挟まれ、北向きに建てられていた。それらのすべてが私を待っていた。私はグルのサンダルを奉り、彼がくれた果実を食べると、瞑想をするために座った」

2000年に、グルマールはシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムにいるシッダ・ヨーガ瞑想ティーチャーたちに、ディヤーナ・サプタ、つまり瞑想の長時間のセッションを行うことによって、バーバのシャクティパート・ディークシャーと瞑想についての彼の教えを祝うようにと指示を与えました。ヒンディー語で、サプタという語は「7日」を意味します。しかし、シッダ・ヨーガの道では、長時間行われるチャンティングや瞑想のセッションは——それが何時間、何日間、何週間であろうと——「サプタ」として知られるようになりました。グルマールは、このイベントを「ムクターナンダ・ディヤーナ・サプタ」と呼びました。

その後、SYDA ファウンデーションは、世界中のシッダ・ヨーガのアーシュラムや瞑想センターで、「ムクターナンダ・ディヤーナ・サプタ」を行いました。私は個人的に、「ムクターナンダ・ディヤーナ・サプタ」に一度ならず参加する幸運を得ました。私は参加することが大好きだったので、できるだけ繰り返して参加したのです。

数年前、私はマサチューセッツ州ボストンのシッダ・ヨーガ・アーシュラムで、「ムクターナンダ・ディヤーナ・サプタ」に参加しました。瞑想ホールの正面に、バーバ・ムクターナンダが履いていた1足の黄色いスリッパがありました。グルのサンダルや靴はパードゥカーと呼ばれます。「ムクターナンダ・ディヤーナ・サプタ」の間、私はグルを思い出すことを通して私の瞑想体験を深めようという意図を持って、バーバのパードゥカーを凝視しました。バーバがまだ身体を持っていた時に、彼のハスの足を飾ったバーバのパードゥカーに集中していると、それらがグルの恩恵の宝庫というだけでなく、バーバ自身が文字通りそして比喩的な意味でも歩んだシッダ・ヨーガの道を表していること、そして、ちょうどバーバ自身のシュリー・グルであるバガヴァーン・ニッティヤーナンダが彼に示したように、バーバは何千人もの探究者たちにその道を示してきたということが分かってきました。

私がこのような意図を形作った後、サツァング・ホールにいる皆が、一緒にシッダ・ヨーガの道のディークシャー・マントラ、つまり伝授のマントラであるオーム・ナマー・シヴァーヤをチャンティングする時になりました。マントラは、神聖な音の川のように私の意識を通して流れていきました。そして私は、深い静けさが浸透し、サツァング・ホールの神聖な雰囲気の中でまだ鳴り響いているオーム・ナマー・シヴァーヤの波動に支えられた、深い瞑想状態に入りました。

今、気がつくとも2021年です。外側では、私たちの世界は劇的な変化を経ました。私たちの外側の生活がどのような変化を被るのかを予測することはできませんでした。しかしながら、瞑想の力のおかげで、私たちは不変の内なる神殿——大いなる自己、心——を本当に持っているのです。この神殿の内なる炎は、マントラを燃料として与えれば与えるほど、そして、私たちの内側には常に神の存在があるという理解を持てば持つほど、より明るく、より白熱して光り輝くのです。

今年、バーバ・ムクターナダのディヴィヤ・ディークシャーの日の74周年に敬意を表して、私たちはシッダ・ヨーガの道の伝統を継続し、瞑想の修行で、この機会を祝います。今回は全く初めて、ディヤーナ・サプタが、シッダ・ヨーガの道のウェブサイト上で行われます——そして、世界中のシッダ・ヨーガ・サンガムの私たち全員が参加する機会を得るのです。

この「ディヤーナ・サプタ」には以下の要素が含まれます。

- サプタ・ランプをともす
- マントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤをチャンティングする
- ダーラナーに導かれて瞑想する
- アーラティー、「ジョータ・セー・ジョータ・ジャガーオー」を歌う

この「ディヤーナ・サプタ」は、8月14日土曜日(米国東部夏時間)の夕方に始まり、8月末まで参加することができます。この2週間の間、あなたが望むだけ何回でも、「ディヤーナ・サプタ」に参加されることをお勧めします。信じてください——参加して良かったと思うでしょう！

皆さんにこの招待状を書いた今、この類いまれな「ディヤーナ・サプタ」に参加して、バーバのディヴィヤ・ディークシャーの日を祝う世界中のすべての皆さんに加わることが、さらに一層楽しみです。

心を込めて、

ジェイク・スレスニック

シッダ・ヨーガ・ミュージシャン

